

日本植物病理学会

第10回記念バイオコントロール研究会のお知らせ

日本植物病理学会第10回記念バイオコントロール研究会を下記のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。万障繰り合わせの上、ふるってご参加下さいますようお願い申し上げます。

1. 開催期日：平成19年3月31日（土）
2. 会場：宇都宮大学 峰キャンパス 農学部3101番教室
(宇都宮市峰町350 TEL: 028-649-5449)
3. 統一テーマ：生物農薬の新戦略とバイオコントロール研究の最前線
4. 主催・共催：バイオコントロール研究会
5. 参加費（講演要旨集合）：4,000円、（講演要旨のみ、2,000円）、当日受付にて徴収。事前申込み不要。
6. 昼食について：大学の周辺に食堂が少ないため、学生食堂を臨時に営業いたします。昼食は学生食堂の利用をお願い致します。
7. プログラム：

9:00～9:05 開会挨拶

第一部 バイオコントロール研究会－10回の歩みと今後の展望

- 9:05～9:40 (1) バイオコントロール研究会の10回を振り返って
百町満朗氏（岐阜大学）
- 9:40～10:15 (2) バイオコントロール研究の展望
有江 力氏（東京農工大学）
- 10:15～10:50 (3) バイオコントロール研究への提言
牧野孝宏氏（静岡県病害虫防除所）
- 10:50～11:00 <休憩>

第二部 生物農薬の新戦略

- 11:00～11:30 (1) タラロマイセス フラバスを用いた新戦略
石川成寿氏（栃木県農業試験場）
- 11:30～12:00 (2) 新登録農薬、ベジキーパー水和剤の利用
小木曾秀紀氏（長野県野菜花き試験場）
- 12:00～13:00 <昼食>
- 13:00～13:30 (3) 生物防除に向けた研究、普及戦略の提言
田口義広氏（アリスト株式会社）
- 13:30～14:00 (4) ホームユースを目指した新生物防除戦略
小板橋基夫氏（農業環境技術研究所）

第三部 バイオコントロール研究の最前線

- 14:00～14:25 (1) 植物生育促進菌類利用の最前線
久保田真弓氏（岐阜大学）
- 14:25～14:50 (2) 内生糸状菌利用の最前線
成澤才彦氏（茨城大学）
- 14:50～15:00 <休憩>

- 15:00～15:25 (3)内生放線菌利用の最前線
清水将文氏 (三重大学)
- 15:25～15:50 (4)内生細菌利用の最前線
相野公孝氏 (兵庫県農林水産技術総合センター)
- 15:50～16:15 (5)ピシウム・オリガンドラム利用の最前線
竹中重仁氏 (北海道農業研究センター)
- 16:15～16:40 (6)微生物群集利用の最前線
對馬誠也氏 (農業環境技術研究所)
- 16:40～17:00 総合討議
- 17:00 閉会挨拶

8. 問い合わせ先

第10回バイオコントロール記念研究会開催事務局

〒321-0943 宇都宮市峰町 350 宇都宮大学農学部 植物病理学研究室 夏秋知英

TEL : 0286-49-5449

E-mail : natsuaki@cc.utsunomiya-u.ac.jp

〒320-0002 宇都宮市瓦谷町 1080 栃木県農業試験場 石川成寿

TEL : 0286-65-1241

E-mail : ishikawas04@pref.tochigi.jp